

情 報

1 この教科のねらい

- ・ 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、基礎的な知識と技能を習得します。
- ・ 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養います。
- ・ 情報社会に積極的に参画する態度を身に付けます。

2 科目の紹介と学習内容

「情報 I」

<教科書の学習>

- (1) 情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法や、情報に関する法規や制度、情報社会における個人の責任及び情報モラル等について学習します。
- (2) メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴や、情報デザイン等について学習します。
- (3) コンピュータの仕組みや特徴、アルゴリズムの表現手段、プログラミング等について学習します。
- (4) 情報通信ネットワークの仕組みや情報セキュリティ、データを蓄積・管理・提供する方法等について学習します。

<パソコン実習>

- (1) コンピュータの基本的な操作方法について学びます。
- (2) 主なソフトウェアの基本操作や活用方法について学びます。
 - ・ ワードソフトを用いた文書作成
 - ・ プレゼンテーションソフトを用いたスライド作成 (プレゼンテーション等)
 - ・ プログラミングソフトを用いた簡単なプログラム作成
 - ・ 表計算ソフトを用いたデータ処理等

3 授業の特色

- ・ 教科書は内容を精選し、必要性や重要性の高い項目を重点的に学習します。
- ・ パソコン実習をなるべく多くして、他教科での活用や苦手意識の克服を図ります。
- ・ パソコン実習は、初心者でも理解できるレベルから丁寧に指導します。
- ・ 創造力を活かし、共に教え合う、互いを評価する等の様々な活動を行います。

4 勉強方法

- ・ 現在及び将来の生活に深く関わることを意識して学習するように心掛ける。
- ・ 教科書をよく読んで、大事なポイントをしっかりと覚えるように心掛ける。
- ・ 実習中は操作方法をよく確認し、手順をしっかりと覚えるように心掛ける。
- ・ パソコンは「習うより慣れよ」、他教科や家庭でも活用するように心掛ける。

5 評価の観点

【知識・技能】	筆記テスト、実技テスト・制作物	(基礎・規定等)
【思考・判断・表現】	筆記テスト、実技テスト・制作物	(応用・創造等)
【主体的に学習に取り組む態度】	授業態度、ノート内容、出欠状況	